

LGBTQ+／SOGIE施策の取組状況について

本市は、誰もが持つSOGIE（ソジー：性的指向、性自認、性表現）の多様性が尊重され、LGBTQ+を含むすべての市民が、自分自身を大切に、自分らしく生き、互いを認め合える「ありのままがあたりまえ」のまちを目指しています。

つきましては、今年度の主な取組状況について報告します。

1 パートナーシップ・ファミリーシップ制度

人生のパートナーや大切な人を家族として届出があったことを市が証明する本制度を導入してから2年が経過しました。本年1月末時点で30組の方々からの届出を受理しています。

本市の制度はどんなソジーの方も利用でき、届出者の二人に加えて、家族として共に暮らす子どもについても証明できるほか、昨年12月には、利用者からの声等も踏まえて、親等の近親者についても届出できるよう要綱を改正しました。

今後も制度の周知を図るとともに、困りごとの解消につながるよう随時、見直し等を行います。

2 専門相談窓口「明石にじいろ相談」

相談窓口についてはツイッターを活用した周知や、研修や出前講座などの機会を捉えた案内も行っており、今年度は、1月末時点で132件の相談がありました。相談内容に応じた情報提供や支援を行っており、今後も更に周知を図りながら、実績も踏まえた効率的・効果的運用を行います。



【案内カード】

3 研修・出前講座

児童・生徒が「性の多様性」の正しい知識を得るとともに、自分も相手も尊重することの大切さを学ぶ機会を提供するため、外部講師を派遣した出前講座を、今年度は小学校10校、中学校5校、高校1校で実施しました。

また、教職員に対しては、教育委員会と連携した階層別の教職員研修や学校単位の研修・ケース会議等を行っています。

地域の市民に向けた研修や出前講座では、性のあり方は多様であることや、誰もが持つ「自分らしさ」を大切にしようことを伝えています。

今後も、性の多様性についての理解促進を図っていきます。



【出前講座の様子】

4 啓発の取組

昨年12月から1月までの重点啓発期間中に、市民向け講演会、セミナー、パネル展示等を開催し、多様な性のあり方や自分らしさを尊重する意識の醸成を図るほか、パートナーシップ・ファミリーシップ制度の周知を通じて多様なカップル・家族のかたちについての理解を高める取組を行いました。

また、企業セミナーを開催し、ソジーに関するハラスメントの防止等、誰もが安心して働くことができる職場環境づくりに向けた取組を始めました。

今後、学校・病院・企業等において、どんなソジーも大切にする職場環境づくりが進むよう、取組を進めていきます。



【パネル展示@トヨカドール】